

図書館機能を中心とした現状と更なる活用に係る

申 入 書

令和7年3月27日

中津川市議会 文教民生委員会

図書館機能を中心とした現状と更なる活用に係る申入書

【はじめに】

文教民生委員会の令和6年度の所管事務調査として、図書館機能を中心とした現状と更なる活用を取り上げました。その理由は、平成24年に新図書館建設が中止となり、建設を願っていた市民には大きな期待が失われつつも当時の図書館を盛り上げる活動が続けられました。それから12年を経て、図書館機能を備えた複合施設「ひと・まちテラス」が令和5年に完成しました。委員会としては、待望の図書館が出来、1年を経過したなかで市民の思い等が反映されたものになっているのか図書館機能の現状と更なる活用にスポットを当てました。

こうした現状を踏まえ、第二次中津川市立図書館サービス計画の基本理念である誰でも気軽に集える図書館に向けての所管事務調査を行い、執行部より現状と課題について説明を受けました。また、甲州市勝沼図書館、東京都千代田区立千代田図書館、神奈川県大和市立図書館への行政視察を行い、地域と連携した取組、利用者に寄り添った取組、子どもの文字離れ対策について先進事例を学びました。そして、当市の図書館運営に関連する団体の方との対話集会を開催し、出席者の意見を反映した申入れとしました。

【ねらい】

1. 図書館本来の機能

- ・改めて基本事項を確認
- ・読書推進活動の棚卸し

2. 居心地

- ・これまでの保守的な概念にとらわれない「気軽に集える図書館」を意識した運営
- ・市ゆかりの作家や人物、地域資料の収集とこれらを活用した展示や情報発信
- ・利用者の興味を引きつけ続ける、工夫を凝らした書架管理、図書の展示・紹介の実践
- ・ひと・まちテラスには興味のない人・利用したことのない人に利用したいと思わせる発信力

3. おもてなし

- ・司書の企画力を生かして図書館の可能性を拡げる取組やサービス展開
- ・外国人や観光客も足を運べる図書館サービスの展開

- ・行政/教育/文化/産業関係者などの課題解決に役立つ資料の収集
- ・中津川市の特色の魅力（例：菓子／木材／石材／農畜産物／街道／鉄道／モノづくり等）について情報を発信および資料収集

4. 協力

- ・民間事業者と地域等と連携したイベントやサポート体制づくり
- ・学生や市民によるボランティア活動の仕組みづくりと活動範囲の検討
- ・各幼保園、学校と連携した読書推進活動（子どもの文字離れを防ぐ）の展開
- ・市民目線の運営（市民も参加できる図書館運営）
- ・単なるサポーター（ボランティア）ではなく、生きがいとして活動できる仕組み

【申入れ事項】

1. 図書館本来の機能

- ①読書推進活動において、子どもたちが図書館に関心が持てる工夫やイベントが評価されている事例があり、学校図書館司書との連携を強化し、更なる充実・発展をお願いしたい。
- ②子どもたちの読書への取組強化において、司書の意見を取り入れながら、「わくわく、ときどき」する読書サークル活動を推進されたい。
- ③図書館に行きたいと思わせる企画の強化において、当市の街道文化／和菓子／モノづくり等に関する組織や人物等との積極的な情報交換により企画展示をお願いしたい。加えて市民や市外の方が魅力を再発見できる情報発信（SNS 等）を強化されたい。

2. 居心地・おもてなし

- ①図書館ルールの緩和において、管理する側と利用する側の両側に配慮し、複合施設のメリットを関係所管部と連携を強化し、最大限発揮できるよう活動願いたい。
- ②高齢者の居心地の充実について、季節や分野ごとにタイムリーなイベントを企画されたい。

3. 協力

- ①中津川市固有の特色ある魅力（例：菓子／木材／石材／農畜産物／街道／鉄道／モノづくり等）を活かすことについて、司書の意見を取り入れながら、郷土に関わる資料や情報の収集・整理・保存をひきつづき推進願いたい。